

地方都市型の 地域リハビリテーションによる COPD地域連携モデルの構築

田中 貴子 氏

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学・
作業療法学講座 助教



呼吸リハ勉強会

要旨

地域都市において呼吸リハビリテーション(リハ)の普及を図るために、既存の医療インフラストラクチャー(インフラ)を利用する「社会資源を活用したCOPD病診連携システム」構築の一助とすべく活動を行った。長崎市の地域医療に関わる医師、看護師、リハ専門職を対象に、呼吸リハに関する勉強会の開催、パンフレットやDVD作成、呼吸リハ実施施設一覧表作成のためのアンケートを実施した。その結果、これら多職種間でCOPD患者に対するケアの標準化、情報共有および連携の強化を図ることができた。また、今回の成果はCOPDの早期発見と診断および治療、重症化予防、医療費削減に寄与できる可能性があると考えられた。さらに、地方都市型のCOPD病診連携システムのモデルとして示す契機となった。

1.背景

世界保健機関(WHO)は、慢性閉塞性肺疾患(COPD)が2020年に世界の死亡原因の第3位(本邦第4位)に位置すると予測している。これを受けて厚生労働省が、健康日本21(第二次)において本疾患を主要疾患として新たに加えたことによりCOPDの認知度の向上、早期発見と診断、治療対策の重要性が増している。

長崎市では2013年より長崎市医師会臨床内科医会と長崎大学が連携しCOPD検診事業を実施している。これまで検診受診者771名中、COPD疑い者は10.6%であり、全国での大規模疫学調査の8.5%を上回る成果を示している。これらの疑い者を医療機関に紹介しているが、呼吸器非専門医の施設で管理されることも少なくなく、特に呼吸リハの適用、実施が不十分であるという問題が生じている。

以上より、COPDを診療および管理する呼吸器非専門医や非専門施設のサポート、情報交換、連携支援体制作

り、特に予防対策を主としたCOPD地域連携システムの構築が急務である。

2.目的

本活動を通して、地域中核(基幹)病院、開業医(呼吸器専門問わず)、リハ施設、在宅サービスなど現在の医療インフラや社会資源を活用したCOPD病診連携システムの構築を目的とした。

3.方法

長崎市医師会臨床内科医会の協力を得て、地域中核病院および開業(診療科問わず)医師、看護師、理学療法士、訪問看護ステーションスタッフを対象に以下の取り組みを計画した。

(1)COPDの基本的知識に関する勉強会の開催

(2)呼吸リハに関する勉強会の開催

(3)呼吸リハに関するリーフレットおよびDVDの作成

(4)病診連携システムの一覧表作成のためのアンケート調査

4.結果

(1)COPDの基本的知識に関する勉強会の開催

COPDの治療と管理における最近の考え方について、医師による講演を2回開催した。各回共に医師、看護師、理学療法士ら約70名の出席者があった。

(2)呼吸リハに関する勉強会の開催

平成27年度は実施困難であったが、平成28年度より「長崎呼吸リハビリネットワーク研修会」と称し、実習を含めた呼吸リハの基礎知識に関する勉強会を実施予定である。

(3)呼吸リハに関するリーフレットおよびDVDの作成

「肺の健康を保つためのリハビリ」と「痰を上手に出す方法」のリーフレット(図1)を作成し、市内の開業医、訪問看護ステーション、リハ実施施設に配布した。合わせてリーフレットと同じ内容のDVDも作成、配布した。その後、施設で個別の直接指導の依頼があったことを契機に、タブレット端末にこれらの動画を取り込み、希望施設への貸出しサービスも開始した。

(4)長崎市の病診連携システムの一覧表作成のためのアンケート調査

理学療法士が所属する医療または福祉機関122施設、訪問看護ステーション27施設を対象にアンケート調査を実施した。回収率はそれぞれ69施設(56.6%)、17施設(63%)であった。このうち、理学療法士所属施設で呼吸リハを実施しているのは28施設(42%)、訪問看護ステーションで呼吸器疾患患者に対して看護ケアを行っている施設は16施設(94.1%)であった。長崎市医師会会員510施設にも同様にアンケート調査を実施した結果、85施設(16.7%)から回答を得た。診療科の内訳は、内科(76.2%)、外科(11.8%)、整形外科(6%)、耳鼻科(3.6%)、眼科・小児科(いずれも1.2%)であり、「呼吸リハビリをご存知ですか」という質問に対し、知らない3施設(3.5%)、聞いたことがあるが内容はわからない35施設(41.2%)、ある程度知っている35施設(41.2%)、よく知っている12施設(14.1%)であった。「呼吸リハに関するリーフレット等があれば、呼吸器専門医でなくても指導しやすいので、活用したい」という意見をいただいた開業医、医療機関にリーフレットを郵送した。その結果、来院患者にリーフレットを配布した際、大変喜ばれたという意見を数多くいただいた。これらの結果に基づき、長崎市において呼吸リハを実施できる施設の一覧表(図2)を作

成し、地域中隔病院の地域連携室、長崎市内の開業医、医療機関、リハ施設、訪問看護ステーションに配布した。

5.まとめと今後の展望

社会資源を活用したCOPD病診連携システムの構築を目指し、地域医療に関わる医師、看護師、リハスタッフの職種間でCOPDに関する知識の習得、ケアの標準化、情報共有および連携強化の契機および一助とすることができた。これを機会に、COPDの早期発見、診断、治療(薬物療法、呼吸リハ)といった一連の介入が円滑に行われることで重症化予防、医療費削減につながり、増加するCOPD患者の医療と福祉の質の向上に寄与できると考える。

今後は、勉強会の継続、リーフレットの内容や呼吸リハを実施している施設一覧表などを随時アップデートし、COPD病診連携システムの確立を目指す。本システムの運用は、地方都市型のCOPD病診連携のあり方の一つのモデルとなることが期待される。

6.謝辞

本活動を遂行するにあたり、杉浦地域振興財団理事長はじめ、財団の関係各位、長崎市臨床内科医会の先生方、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科内部障害リハビリテーション学分野のスタッフに、深く感謝申し上げます。

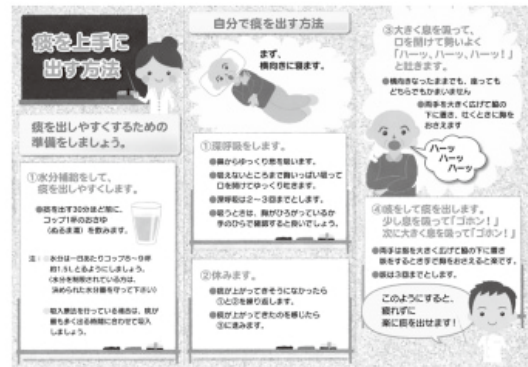


図1 「肺の健康を保つためのリハビリ」と「痰を上手に出す方法」リーフレット

市内で呼吸リハビリテーションを行っている施設の一覧				平成27年9月19日現在			
施設名	住所	電話番号	施設種別	施設名	住所	電話番号	施設種別
長崎中央病院	長崎市	555-3881	+	長崎総合病院	長崎市	071-1515	+
長崎西病院	長崎市	555-3881	+	長崎東病院	長崎市	047-1511	+
長崎南病院	長崎市	555-3881	+	長崎北病院	長崎市	019-7288	+
長崎東病院	長崎市	555-3881	+	長崎西病院	長崎市	822-3161	+
長崎南病院	長崎市	555-3881	+	長崎北病院	長崎市	833-1390	+
長崎東病院	長崎市	555-3881	+	長崎西病院	長崎市	827-3051	+
長崎南病院	長崎市	555-3881	+	長崎北病院	長崎市	856-1112	+
長崎東病院	長崎市	555-3881	+	長崎西病院	長崎市	1069-25	+
長崎南病院	長崎市	555-3881	+	長崎北病院	長崎市	827-3817	+
長崎東病院	長崎市	555-3881	+	長崎西病院	長崎市	046-8111	+
長崎南病院	長崎市	555-3881	+	長崎北病院	長崎市	839-2001	+

図2 長崎市呼吸リハ実施施設一覧表